

地域医療の新たな拠点として、平成30年10月に開院を目指す「さくらがわ地域医療センター」(完成イメージ図)



介護予防で活躍中の「桜川市シルバーハビリ体操指導士会」の皆さん

が活発化するような体制づくりを推進してまいります。
◆障がい者福祉の充実
障がいのある方およびその家族が住み慣れた地域で、安心して生活を送ることができるよう、相談支援体制の充実を図り、適切な福祉サービスが受けられるよう支援してまいります。
◆高齢者福祉の推進
「地域包括支援センター」を中心に、在宅介護サービスや施設サービスの充実を図りながら、高齢者が安心して生活を送り、互いに支えあう地域づくりを推進してまいります。また、認知症への対応として「高齢者見守りネットワーク」との連携を図るとともに、「認知症サポーター養成講座」を開催し、市民の意識啓発を推進してまいります。

◆学校教育の充実
子どもが自ら学び、自ら考える「確かな学力」、他人を思いやる心や、感動するための「豊かな心」、たくましく生きるための「健康や体力」、次代を担う子どもたちの「生きる力」を養う教育に努めてまいります。

生きがいを育む学びのまちづくり



小中一貫教育校として整備している「桜川市立桃山学園」(校舎建設イメージ図)

◆社会保険制度の健全運営
「国民健康保険制度」や「後期高齢者医療保険制度」は、急速な高齢化や医療技術の高度化により医療費が増大する一方、財源となる保険料等の増収が見込めず、厳しい財政運営が続いております。今後、保険や福祉と連携しながら疾病の早期発見・早期治療に効果が期待できる、特定健診の受診率向上に取り組む、医療費の抑制を図るとともに、保険料等の収納率の向上に努めてまいります。また、市民の医療費の経済負担を軽減するため、医療福祉費支給制度(マル福)の改正を行い、助成対象者を18歳まで拡大し、10月より実施してまいります。

◆文化財の保存・活用
震災により被害を受けました、真壁地区の歴史的建造物につきまして、引き続き、国の支援を受け、復旧を推進してまいります。

◆生涯スポーツ活動の振興
子どもたちから高齢者まで、幅広くスポーツに取り組める環境づくりに努めてまいります。

◆青少年の健全育成
地域教育力の強化を図り、地域が一体となって青少年が健全にのびのびと生活できる環境づくりに努めてまいります。

◆生涯学習・芸術文化活動の推進
真壁伝承館、岩瀬・大和中央公民館において、生涯学習の拠点となる講座・イベントを開催し、市民の学習・文化活動に対する意識啓発を図るとともに、市民が主体となって行う芸術文化活動の成果発表などを支援してまいります。

◆地域福祉の推進
市民に地域で相談ができる「かかりつけ医」などをもつよう普及啓発するとともに、必要時には専門医療を受けられるよう「市立病院(さくらがわ地域医療センター)」の整備を進めてまいります。

◆地域医療体制の充実
市民に地域で相談ができる「かかりつけ医」などをもつよう普及啓発するとともに、必要時には専門医療を受けられるよう「市立病院(さくらがわ地域医療センター)」の整備を進めてまいります。

◆子育て支援の充実と少子化対策の推進
安心して子どもを産み、子育てができる環境をつくるため、多様なライフスタイルに対応ができるよう、保護者のニーズに沿った子育てと就労の両立を支援してまいります。その一環として、児童の健全育成と子育て支援を行うための「放課後児童対策事業」や、仕事と子育ての両立を支援する「ファミリーサポート

また、児童によるヤマザクラの苗植え体験を実施し、郷土について学習するとともに、ICT技術を活用した英語教育を推進し、国際教育の充実を図ってまいります。

◆教育環境の整備
「小中一貫教育校(桃山学園)」を整備していくとともに、地域や保護者に対するアンケートを実施し、小・中学校の適正配置を推進してまいります。

さらに、児童・生徒の心の悩みや不安を相談できる「適応指導教室」の充実を図り、不登校・ひきこもり問題の解消に努めてまいります。

◆子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり
子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくりを推進してまいります。

◆子育て支援の充実と少子化対策の推進
安心して子どもを産み、子育てができる環境をつくるため、多様なライフスタイルに対応ができるよう、保護者のニーズに沿った子育てと就労の両立を支援してまいります。その一環として、児童の健全育成と子育て支援を行うための「放課後児童対策事業」や、仕事と子育ての両立を支援する「ファミリーサポート

また、児童によるヤマザクラの苗植え体験を実施し、郷土について学習するとともに、ICT技術を活用した英語教育を推進し、国際教育の充実を図ってまいります。

◆教育環境の整備
「小中一貫教育校(桃山学園)」を整備していくとともに、地域や保護者に対するアンケートを実施し、小・中学校の適正配置を推進してまいります。

市内の磯部地区や高峯・雨巻山、雨引山・筑波山の山麓地帯などに、数多くのヤマザクラが咲き誇ります。(高峯のヤマザクラ)



桜川市長 大塚 秀喜

平成29年3月6日(17日の会期で開催された、第1回桜川市議会定例会)で、平成29年度の市政運営に向けて、大塚市長が施政方針を述べました。本月号で、その概要をお知らせします。なお、平成29年度予算の概要については、来月号に掲載します。

平成29年度 施政方針

平成29年度

はじめに

我が国の経済は官公需の下支えのもと、緩やかな景気回復基調が続いておりますが、経済の先行きについては、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等に注意をしいていく必要があります。このような中、国においては誰もが生きがいを持って充実した生活を送ることができ「一億総活躍社会」の実現に向け、アベノミクス「新・三本の矢」に沿った施策を推進することで、成長と分配の好循環を確立し、日本経済全体の持続的拡大を目指しております。国は地方自治体に対しても、一億総活躍社会の実現や地方創生、公共施設の適正管理等に取り組み、地方が自ら考え、責任をもって戦略を推進することを求めています。本市においても、私の政策テーマであります「命と健康を守る」、「産業を元気にする」、「観光の活性化」、「農業振興」、「教育の充実」、「行財政の充実」の6つの基本姿勢を柱に、将来を見据えた中長

期的な観点から、効果的な施策を、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、実現に向けた市政運営に努めてまいります。また、桜川市第2次総合計画の基本構想の将来像にもありますように、「ヤマザクラ」と市民の幸せが咲くまち桜川を実現するため、新たにヤマザクラ課を設置し、ヤマザクラ景観の保全やヤマザクラ文化の醸成など、特色あるまちづくりを進めてまいります。

センター事業」、子育て支援の拡充や、質の向上を進めていくための「子ども・子育て支援事業」を行ってまいります。なお、経済面の支援策として「教育・保育施設等利用者負担金軽減化事業補助」、「子どものための教育・保育給付事業」、「新入学児童へのランドセルの支給」などを行い、子育てに伴う経済的負担の軽減を図ってまいります。◆健康づくりの推進
自ら健康づくりに取り組み、元気に暮らしていくために、健康的な生活習慣づくりに取り組めるよう、健康意識の普及啓発やその活動の支援をしてまいります。◆地域医療体制の充実
市民に地域で相談ができる「かかりつけ医」などをもつよう普及啓発するとともに、必要時には専門医療を受けられるよう「市立病院(さくらがわ地域医療センター)」の整備を進めてまいります。◆地域福祉の推進
市民に地域福祉に関する意識を高め、個人や市民団体が地域福祉活動の担い手になるよう支援をし、地域福祉活動